

科目名 (科目番号)	免疫検査学 I (102261)	教員名 藤田 和子	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		水3 4	B203研究室	
授業概要	臨床免疫学で講義した液性免疫と細胞性免疫を基盤とし、感染症、自己免疫疾患、アレルギー性疾患、免疫機能、腫瘍免疫および血清蛋白質検査等を解説し、臨床検査技師が担当する免疫検査領域の検査理論と検査方法を臨床的意義との関係から理解する。免疫検査学は免疫学的手法を臨床検査に応用する学問である。あらゆる疾患における臨床検査に免疫学的手法は利用されており、免疫機能の異常が直接的に関わる疾患については、それらの病態についても学習する。						
準備学習	毎回の授業について、少なくとも1時間程度の予習復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	免疫応答	到達目標: 異物に対する免疫応答について説明できる。 学習内容: 免疫反応での免疫系の細胞・分子の働きについて復習し、さらに詳しい分子の反応を学ぶ。				
	2	ホメオスタシスにおけるアポトーシス	到達目標: 異物の免疫学的排除と異常細胞排除について説明できる。 学習内容: ホメオスタシスの一環であるアポトーシスについて学ぶ。				
	3	抗原抗体反応の原理1	到達目標: 沈降反応・凝集反応・溶解反応・中和反応について説明できる。 学習内容: 抗原抗体反応の種類と原理、特徴について詳しく学ぶ。				
	4	抗原抗体反応の原理2	到達目標: 標識抗原抗体反応・免疫電気泳動法・WB法について説明できる。 学習内容: 抗原抗体反応の種類と原理、特徴について詳しく学ぶ。				
	5	抗原抗体反応の原理3	到達目標: 抗原抗体反応の感度、精度、偽反応について説明できる。 学習内容: 抗原抗体反応の感度、精度、偽陽性反応、偽陰性反応について学ぶ。				
	6	感染症の免疫検査1	到達目標: 細菌感染症の免疫検査について、説明できる。 学習内容: 細菌感染症の免疫検査について、原理、特徴、臨床的意義を学ぶ。				
	7	感染症の免疫検査2	到達目標: 梅毒の免疫検査について、説明できる。 学習内容: 梅毒の免疫検査について、原理、特徴、臨床的意義を学ぶ。				
	8	感染症の免疫検査3	到達目標: ウイルス感染症の免疫検査について、説明できる。 学習内容: ウイルス感染症の免疫検査について、原理、特徴、臨床的意義を学ぶ。				
	9	自己免疫疾患の免疫検査1	到達目標: 臓器特異的自己免疫疾患について、説明できる。 学習内容: 臓器特異的自己免疫疾患について、特異抗体、臨床的意義などを学ぶ。				
	10	自己免疫疾患の免疫検査2	到達目標: 全身性自己免疫疾患について、説明できる。 学習内容: 全身性自己免疫疾患について、特異抗体、臨床的意義などを学ぶ。				
	11	免疫不全症の免疫検査	到達目標: 免疫不全症について、説明できる。 学習内容: 免疫不全症の原因と症状、検査の原理、特徴、臨床的意義を学ぶ。				
	12	アレルギーの免疫検査	到達目標: アレルギーについて、説明できる。 学習内容: アレルギーの種類と特徴、免疫学検査の原理、臨床的意義を学ぶ。				
	13	腫瘍の免疫検査1	到達目標: 腫瘍特異性が低いマーカーについて、説明できる。 学習内容: 腫瘍特異性が低いマーカーについて、特徴・臨床的意義を学ぶ。				
	14	腫瘍の免疫検査2	到達目標: 腫瘍特異性が高いマーカーについて、説明できる。 学習内容: 腫瘍特異性が高いマーカーについて、特徴・臨床的意義を学ぶ。				
15	免疫検査室の管理と運営	到達目標: 免疫検査室の管理と運営について説明できる。 学習内容: 免疫検査室の管理と運営について学ぶ。					
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	最新臨床検査学講座 免疫検査学	窪田哲朗、藤田清貴、細井英司、梶原道子 編			医歯薬出版		
参考図書	臨床免疫学	福岡良博、メ谷直人、大戸斉、宮崎孔、佐藤進一郎ほか			医歯薬出版		
教員からのメッセージ	免疫検査学は、休んだら必ずその分を勉強しておいて下さい。免疫検査学は、臨床化学・血液学・細菌学・病理学と密接に関連しているので、しっかり学べば、他教科の理解に役立ちます。						